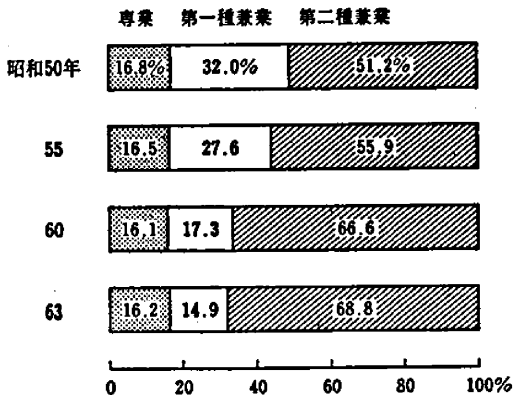
15. 農　　家　　数

農業基本調査によると，昭和63年２月１日現在の農家数は122,584戸で，前年と比較すると，1,685戸（△1.4%）の減少となった。

農家を専兼業別にみると，専業は19,892戸（構成比16.2%），第一種兼業（一兼）は18,306戸（同14.9%），第二種兼業（二兼）は84,386戸（同68.8%）であった。これを前年と比較すると，専業が571戸（△2.8%），一兼は1,017戸（△5.3%），二兼は97戸（△0.1%）とそれぞれ減少した。

専業・兼業別農家数の割合



経営耕地面積規模別にみると，1.0～2.0ヘクタール層が38,295戸(構成比31.2%)，0.5～1.0ヘクタール層35,709戸（同29.1%），0.1～0.5ヘクタール層34,297戸（同28.0%）となっている。

各年２月１日現在

年	農家総数	専業兼業別				
		1）専業	2）兼業 計	3）第1種	4）第2種	
昭和 59 年	128 977	20 620	108 357	21 918	86 439	
60	128 038	20 612	107 426	22 162	85 264	
61	126 193	20 707	105 486	20 876	84 610	
62	124 269	20 463	103 806	19 323	84 483	
63	122 584	19 892	102 692	18 306	84 386	

年	経営耕地面積規模別					
	0.1～0.5ha	0.5～1.0	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0ha以上	例外規定
昭和 59 年	35 517	38 188	41 919	10 646	2 142	565
60	38 218	36 751	39 637	10 549	2 247	636
61	35 992	36 587	39 794	10 788	2 420	612
62	34 925	36 211	38 986	10 916	2 590	641
63	34 297	35 709	38 295	10 829	2 808	646

注）1. 60年は農業センサス，その他各年は農林水産業統計調査による。
2. 農家とは，次に掲げる規模の農業を営む世帯をいう。①経営耕地面積が10アール以上であるもの。②経営耕地面積が10アール未満又は皆無でも過去１年間の農産物販売額が10万円以上であるもの。（例外規定という。）
3. 1）世帯員中に兼業従事者がいない農家。　2）世帯員中に兼業従事者が１人以上いる農家。　3）自家農業を主とする兼業農家。　4）自家農業を従とする兼業農家。

資料　統計課「農業基本調査の結果概要」，「農業サンセス結果概要」